



友達、親戚、家族、兄弟姉妹、このレターを読んでもくださる皆さんへ 2024年6月1日

皆さん！元気でしょうか？皆さんが、元気になっておられることを、心から願っています。

### 感謝と感激の2カ月

この春の約2カ月間、バタバタした感謝と感激の時をイエス様から頂きました。イエス様は、あちこちで、私を新しい方々に合わせてくださり、たくさんで覚えきれないくらいです。歳？チャウ！

笠戸（山口）の家にほとんど帰ることもなく、あちこちを放浪しながら、イエス様の導きによって、それぞれの方に、イエス様の良い知らせを話させていただき、また、歌わせていただきました。感謝と感激です。5月下旬、ようやく笠戸に帰ってきたら、ハワイに帰宅する準備です。朝から家の周りの草刈りや、強風で飛びそうなものを倉庫にしまったり、あるものは束にして動かなくしたりして、外回りはほとんど終わった。午後からは、お土産を買いに町に出ました。その後、荷物を飛行場に送るため、宅急便に。陽が落ちる前の早めの風呂に入り、今回笠戸での最後の晚餐。とは言っても、夏来るまでに腐ってしまうので、冷蔵庫に残っていたものでえ、ぶつ切りにした茄子と玉ねぎと豚肉のすき焼きでございます。わずが残っていたすき焼きの素と醤油と砂糖でしばらく炊いた後、家の山側にある廊下の椅子に座り、ウグイスの谷渡を聴きながらそれを食べていました。美味い。

しばらくゆったりと時間を過ごす。イエス様、ありがとう。ウグイスが、今、また一つ鳴いた。師匠です。のどかな夕方。農道のそばにある溝の流れが十分霏困気を出す田舎は、ここ小深浦。大好き！イエス様ありがとう。

### それでは、いかに生きるべきか？

またです！あたりを見回していたら、また最近よく心に浮かぶことを、考えていました。「私が作ったこのセメントの壁と、このセメントの歩道は、私が死んで天国に行った後も、まだ、そのまま残っているよなあ。上の田んぼのあの石垣も私より長生きするなあ。この家のサッシも私より長生きする。もらってきた居間の長椅子とたくさんの椅子。これらはバーベキューと聖書を読む会に使うもの。今座ってる椅子とテーブルも、前の持ち主の<sup>よわい</sup>年齢をはるかに超えて長生きしてる。そして、私よりも長生きするに違いない。「物を人格化してるんじゃないんですよ、笑」しかし、マジその通りです。

いつまで続くかわからない、私の<sup>よわい</sup>年齢を思い、また新たに「それでは、いかに生きるべきか？」を考え、イエス様の御心を求める願いの中に、いくつかのビジョンをもらう。

### なんとも悲しい

希望だと思っていた全てのことが、この世での自分の命が終わることで、全てなくなってしまう。

それは希望ではなかったのです。そのことを知らずして、この世を去る人々のことを思う時、なんとも悲しく、涙があふれます。泣きながら、この春の旅を思い出し、新しく会わせていただいた人々のことを思い、聞いてくださった希望のゴスペルをその方々が思い出し、神の愛と希望を求めることを願って止まないのです。今、この静かな夕方、改めて、イエス様の真理の確かさ、イエス様の約束の真実、イエス様の愛と力の偉大さに思いを潜めます。そして、人々のことを思う悲しみの中に、イエス様のそれに似た、人々に対するあわれみの心。イエス様、どうか続けて、人々の救いを願う心を、私の内に強めてください。

### 私はここで何をしています？

「なぜ私はここでじっとしている？」「永遠の滅びに向かっている私の周りの友を見て私は何をしている？」「私は、神が私に用意してる御心を求めないのか？」「私は何のために生きている？」「私はこの人生を何をして生きようと考えている？」

昔聞いた声をまた思い出すのです。すると、いくつかの聖書の言葉を思い出していました。歴史の中で神が決めた時に、この地上で神が決めた場所で、神に創造され、存在させられている全ての神の子に、神は語る。「誰を遣わそうか？」と。

### 「誰を遣わそうか？」

- 1 空しく生きてたこの世の暗闇の中から  
ただ神の恵みにより あがな贖われた  
今 周りを見れば ほとんど全ての人  
が 悪魔の罠にかかって出られない  
いつまで 手をこまねいて 見てるのか  
滅びゆくものをあわれまないで  
陽は沈んでゆくんだ 誰にでも 今昼間でも  
夕暮れに聞いた小さな声  
「誰を遣わそうか？」 イエス様——！

2 私を遣わしてください 何処にでも  
ここにいますから いつでも  
あんな私も 全ての罪を赦され  
神の子になりました  
あなたの恵みが あまりにも大きく  
黙っているなんてできない これ以上  
永遠の滅びに向かっている友に  
伝えたいんです あなたの愛

3 君が言わなきゃ誰が言うの？ 石が叫ぶぞ！  
雷が鳴るぞ 鳥が歌うよ 花が咲くよ  
自分の評判気にしてたんじゃ弱くて  
神の力は使えない  
弱さを認めて イエス様だけに頼る時  
神の力があふれる  
私も行きます あなたが言えば 何処にでも  
遣わしてください 直ぐにでも

4 ……

5 ……

あがな贖われた……自分の罪のせいで悪魔の虜になっていた私を自由にするため、私が受けるべく罪の罰（死と永遠の滅び）を、神の子イエス様が代わりに受けてくださった。そして、イエス様のその愛を、私が個人的に心に頂いたことによって、そのことは、父なる神が、ひとり子イエス様の命の値段で、私を、悪魔の手から、買い戻して、再び神のものとなった。うまく言葉で説明できませんが……。

### 「信仰は聞くことから始まる」

天と地の全てのものを造られた神と、神の真理を信じることは（現実と知って、信じることは）、聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのことばによるのです。（ローマ 10：17）

「その呼び声は全地に響き渡り、そのことばは、地の果てまで届いた。」（詩篇 19：4）

その呼び声は、今はクリスチャンになった全ての人の心に届いたのです。私の心にもです。

そして、クリスチャンは呼ばれた。その言葉が、地の果てまで届くため、私たちすべての者は呼ばれた。それは、神から遠く遠く離れた全ての人の閉ざされた心に、その呼び声が届くために、私たちは呼ばれた。「誰を遣わそうか?」と。

### 神が選ばれる者

私たち、神に呼ばれた者は知っています。それは、

「神は、知恵ある者はずかしめるために、この世の愚かな者（私たち）を選び、強い者はずかしめるために、この世の弱い者（私たち）を選ばれたのです。また、この世の取るに足りない者や見下されている者を、神は選ばれました。すなわち、有るものをない者のようにするために、無に等しいものを選ばれたのです。」

(Iコリント1:27、28)

### 私たち、すべての者は、遣わされた者

「主の御名を呼び求める者は、だれでも救われる。」(ローマ10:13)

(私訳:天と地の全てのものの創造主であり、この世の罪からの救い主であるイエスの名を呼び求める者は、だれでも救われる!)

「しかし、信じたことのない方を、どうして呼び求めることができるでしょう。聞いたことのない方を、どうして信じることができるでしょう。宣べ伝える人がなくて、どうして聞くことができるでしょう。遣わされなくては、どうして宣べ伝えることができるでしょう。」

(ローマ10:14~15)

### なぜ、宣べ伝えるのか? なぜ、今まで、人は宣べ伝えてきたのか?

それは、

「この方(イエス・キリスト)以外には、誰

によっても救いはありません。世界中でこの御名のほかには、私たちが救われるべき名としては、どのような名も、人間に与えられていないからです。」(使徒4:12)

### 春の旅で遣わされたいくつかのライブ

#### ※徳島県阿南市 銭湯洗い場コンサート

えーっ? 川端くん家族がだいたい100年前から経営してきた老銭湯(清光湯)でのライブ。楽器を持って風呂屋のドアを入ったら、「バンダイに座ります?」と川端くん。笑。そうこうしていると、「森繁さん、ここが控え室です。」女風呂の脱衣所に案内された。ゲーッ! 男の脱衣所は、すでに椅子でいっぱい。川端くんの友達の瀬戸くんが、四万十から駆けつけてくださった。瀬戸くんの前座で和やかになった銭湯の洗い場会場は、来られた方でいっぱいになった。

#### ※安曇川バーベキューと聖書を読む会

去年の12月にコンサートをした滋賀県安曇川町に来られた70歳以上の壮年3名様。今回は聖書は読みませんでした。お互い待ちかねた再会に、Tさん宅でのバーベキューは大いに盛り上がり楽しい楽しいひとときになり、お互いにもっと知り合う時となりました。感謝! 3人の内のBさんはホームページ制作の仕事をしておられ、彼がパートで働いておられる京都の東山通りにある「アイボリー憩いの里」を紹介してくださいました。翌日、Bさんと一緒にアイボリーへ。オーナーの方とマネージャーの方にお会いし、私が、聖書にある神の愛と永遠の希望について歌って旅をしてることをお話すると、是非そこでライブをしてくださいと言ってくださいました。感謝! 御心なら、この夏。

#### ※浜松ワクワクキャンプ同窓会

約50人が集まった。戦後、Bファミリー夫妻から始まった静岡県を中心にしたイエス様を伝え

る働きは、自分たちの子供達に継がれ、子供達は小学生を中心としたワクワクキャンプを何年もの間、天竜川の上流にあるキャンプ場で続け、イエス様の愛を伝えた。そして今回は、孫たちが、ワクワクキャンプの同窓会を企画。今から15年～20年前にキャンプに集まっていた子供達の同窓会。盛り上がりました！皆んながもう一回、イエス様の愛と永遠の希望を聞いてくれました。おばあちゃんのロイスさん100歳。Bファミリーは、イエス様に仕え、人々を支え、自分たち自身を人々に与える働き人。私は、長い間、いつも彼らにやられてきました。

#### ※関東学院大学チャペルタイム

コロナがおさまって、去年から始まったチャペルタイム。新入生に向けての、19分の一本勝負？「これが最初で最後」になるだろうゴスペルライブとトーク！チャプレンの先生方は「森繁さんのことは、週報で読んでください」と、できるだけ長い時間を私にくださる！嬉しい！奮い立たされる！二日間で約140人くらいの若者が、天と地の全ての造り主にある希望を聞いてくださった。アンケートを読んで、多くの若者が聖書の内容に関心を持ってくださったと感じた。イエス様、ありがとう。彼らを、よろしくお祈りします。

#### 対馬

コロナが襲うまで続けて4～5年行っていた対馬。今回は3年ぶりでした。もう15年以上前になるでしょうか。ロサンゼルスに伝道コンサートで行った時、コンサートを企画してくださったKファミリーを通して出会ったT兄弟。以来、彼は

私の強いサポーターとして同労しておられます。彼が対馬に行くときは、よく私を連れて行ってくださるのです。テンションの高さで負けてしまう私は、ある意味、彼にリラックスさせてもらってると思う。笑。私自身、旅で出会わせてもらう人とはだいたい誰とでも会話を始める賜物があるが、そのことで私は、彼の足元にも及ばない。

T兄弟は今回ロサンゼルスから農業スペシャリストの娘さんと一緒に来られた。彼が対馬に行く理由は、そこでイエス様を伝えているK兄弟と家族をサポートし、励ますためだ。K兄弟は、島の引きこもりの若者や、不登校の若者を中心に時間と労力を使い、また、親とも関わりを持って、イエス様の愛と永遠の希望を伝えているのです。

まだ若い彼は、パイロットの免許を持ち、農機具など、いろんな機械整備の技術を持っていて、何でも自分ができることで地域のたくさんの人と関わっている。島の南西の小さな部落にもう10年くらい家族5人（奥さんと3人の子供）で住んでいて、高齢化した部落の農家の人から、梨や桃の畑を譲り受け、また自分でもイチゴやそのほかいろんな果物を試しに植えて一生懸命生活をしている。

今回、私は二つコンサートをさせていただきました。最後の1日は、アボカドとキウイを植える穴を掘る手伝いを少しさせてもらいました。私は、TさんとKさんを通して、イエス様に励まされるのです。イエス様、彼らをありがとうございます。彼らを、よろしくお祈りします。



#### ザ・デイ / 森繁 昇

〒744-0019 山口県下松市桜町2丁目17-24  
FAX▶0833-91-6492  
E-mail▶[thewindisblowing@hotmail.com](mailto:thewindisblowing@hotmail.com)  
振替口座▶01330-4-93687 ザ・デイ

**Noboru Morishige**  
P.O.BOX 1666  
KEAAU, HAWAII 96749 U.S.A  
TEL ▶808-966-9252